



カタールフレンド基金助成事業「災害とジェンダーに関する人材育成プログラム」
『自然災害におけるジェンダー平等と女性のエンパワーメント』事業

報 告 書



主 催：男女共同参画と災害・復興ネットワーク、公益財団法人日本女性学習財団
特定非営利活動法人参画プランニング・いわて

運営主体：盛岡市、もりおか女性センター

協 力：減災と男女共同参画 研修推進センター、公益財団法人盛岡国際交流協会、
山下 梓

共 催：盛岡市町内会連合会、宮古市

カタルフレンド基金助成事業「災害とジェンダーに関する人材育成プログラム」
『自然災害におけるジェンダー平等と女性のエンパワーメント』事業
報 告 書

～ 目 次 ～

I、実施要項 ————— P2

II、事業報告

1、2・11 防災講演会・シンポジウム

「東日本大震災から4年、

「第3回国連防災世界会議」へ被災地からの発信」 ————— P5

2、防災出前講座①盛岡地区

「命と暮らしを守る避難所運営」

～地域に暮らす多様な人々にとって、安全・安心な避難所づくり～ ——— P6

3、防災出前講座②宮古地区

「命と暮らしを守る避難所運営」

～地域に暮らす多様な人々にとって、安全・安心な避難所づくり～ ——— P7

4、事業検討会①～② ————— P8

5、成果物一覧 ————— P9

6、報道記事 ————— P9

I、実施要項

カタルフレンド基金助成事業「災害とジェンダーに関する人材育成プログラム」
『自然災害におけるジェンダー平等と女性のエンパワーメント』事業 実施要項

1、趣 旨

東日本大震災の経験や課題をふりかえり、教訓を活かしていくために、多様な人々の視点を生かした地域防災の在り方と、いつ起こるかわからない災害に備え平時からの取組みが大切であると考え、平成 26 年度は「多様な人々の視点を生かす、女性防災リーダー養成講座」と「男女共同参画の視点を生かした 避難所運営マニュアル作成講座」を実施してきました。

本事業では「自然災害におけるジェンダー平等と女性のエンパワーメント」を主軸として、性別に関わりなく協働での避難所運営、女性や子どもへの暴力の防止、多様性への配慮など“命とくらしを守る”ための学びをとおり、町内会や所属団体での実践につなげていきたいと考えています。

また、女性たちの声を町内会や所属団体、審議会等の政策決定の場に届けることの必要性から、昨年度の講座修了生の人材活用と継続した女性防災リーダー養成に向け取り組んでいきます。

なお、「女性防災リーダー養成講座」修了生には、盛岡市男女共同参画人材バンクに登録いただき、多様な視点から地域の減災・防災に向けた取り組みを共に進めていきたいと考えています。

昨年度の講座で作成した『命とくらしを守る避難所運営ガイドライン』を広く市民のみなさまにご活用いただくため本事業にて増刷、併せて『命とくらしを守る避難所運営ガイドライン [本編]』を作成し、今後の出前講座等で活用を図っていききたいと考えています。また、外国人の方に向けた避難所内の外国語標示作成など多様な人々にとって安心・安全な避難所づくりと、女性防災リーダーの養成・人材活用につなげていくことを目的に実施します。

2、主 催 男女共同参画と災害・復興ネットワーク、公益財団法人日本女性学習財団
特定非営利活動法人参画プランニング・いわて

3、運営主体 盛岡市、もりおか女性センター

4、協 力 ■企画協力 減災と男女共同参画 研修推進センター
■言語協力 公益財団法人盛岡国際交流協会
■翻 訳 者 やましたあずさ 山下 梓

5、共 催 ■事業全体 盛岡市町内会連合会
■防災出前講座②（宮古地区） 宮古市

6、後 援 ■2・11 防災講演会・シンポジウム
岩手県、岩手県教育委員会、盛岡市教育委員会、岩手県社会福祉協議会、岩手県看護協会、岩手県助産師会、岩手県栄養士会、盛岡市人権擁護委員協議会、盛岡市社会福祉協議会、盛岡市消防団、盛岡市民生児童委員連絡協議会、盛岡市老人クラブ連合会、盛岡市身体障害者協議会、盛岡市地域女性団体協議会、盛岡市医師会、盛岡市歯科医師会、盛岡市婦人防火クラブ連合会、インクルいわて、エンパワーメント 11 わて、岩手レインボー・ネットワーク、認知症家族の会
■防災出前講座①（盛岡地区）
みたけ地区活動センター、みたけ地区活動福祉推進会 自主防災会

7、対象・定員 ■2・11 防災講演会・シンポジウム
町内会や自主防災組織など関係機関や団体の会員、
防災に関心のある市民 100人
■防災出前講座
①盛岡地区（みたけ地区活動センター） 30人
②宮古地区（フラットピアみやこ） 20人

8、内 容

No.	日 時	会 場	内 容	講 師
1	2 月		①「命とくらしを守る避難所運営ガイドライン」増刷 ②「命とくらしを守る避難所運営ガイドライン [本編]」作成 (※ H26 年度内閣府事業報告書から抜粋)	
2	2/11 (水) 13:30 ~ 16:30	プラザおでつ て3階ホール	■ 2・11 防災講演会・シンポジウム「東日本大震災から4年、 「第3回国連防災世界会議」へ被災地からの発信」	
			◎事業終了報告 内閣府地域防災における男女共同 参画の推進事業「男女共同参画の視 点を生かした避難所運営マニュアル 作成講座」 「命とくらしを守る避難所運営ガイ ドライン」完成の報告	もりおか女性センター センター長 田端八重子 たばたやえこ
			◎第1部：基調講演 「災害と男女共同参画 第3回国連 防災世界会議に向けての国際的な流 れ」	男女共同参画と災害・ 復興ネットワーク 代表 堂本暁子 どうもとあきこ
			◎第2部：シンポジウム 「東日本大震災から4年、「第3回 国連防災世界会議」へ被災地からの 発信」	コーディネーター 男女共同参画と災害・ 復興ネットワーク 代表 堂本暁子 どうもとあきこ シンポジスト 前山田町立山田南小学 校（現杜陵小学校長） 校長 佐賀敏子 さがとしこ 岩手県東日本大震災津 波復興委員会女性参画 推進専門委員会（国立 大学法人岩手大学副学 長・男女共同参画推進 室長） 委員長 菅原悦子 すがわらえつこ
		3階ホワイエ	◎防災・震災関連パネル展示 NPO 法人参画プランニング・ いわて、もりおか女性センターの 取組み紹介	
		3階大会議室	◎インターネットラジオ動画放映「買い物代行 芽でるカーが 走る」	
	16:30 ~ 17:00	4階リハーサル 室	◎インターネットラジオ収録	講演会・シンポジウム 講師

3	5/8 (金) 13:00～ 16:00	盛岡市みたけ 地区活動セン ター	■防災出前講座①盛岡地区 「命とくらしを守る避難所運営」 ～地域に暮らす多様な人々にとっ て、安全・安心な避難所づくり～ ①防災グッズ見学 ②避難所シミュレーション ③避難所運営ガイドライン説明 ④今後の避難所運営についての話し合い 《講義・ワークショップ》	減災と男女共同参画 研修推進センター 共同代表、 早稲田大学 「地域社会と危機管理 研究所」 招聘研究員 あさのさちこ 浅野幸子 もりおか女性センター 管理事業部リーダー かとうすけこ 加藤清子
	5/15 (金) 14:00～ 16:00	宮古市男女共 生推進セン ターフラッ トピアみやこ	■防災出前講座②宮古地区 「命とくらしを守る避難所運営」 ～地域に暮らす多様な人々にとっ て、安全・安心な避難所づくり～ ①基本的な論点 ②話し合い ③連携による事例紹介 ④避難所運営ガイドライン説明 ⑤今後の取り組み、質疑 《講義・ワークショップ》	
4	6月		①「命とくらしを守る避難所運営ガイドライン」[外国語標示] (ラミネート仕様) 作成 ②『自然災害におけるジェンダー平等と女性の エンパワーメント事業』報告書(日本語版・英語版) 作成	
5	① 2/11 (水) 16:30～18:30 ② 6/13 (土) 16:00～18:00		■事業検討会 検討委員： 岩手レインボー・ネットワーク エンパワーメントいわて	やましたあずさ 山下梓 かがやまきこ 加賀谷真紀子

9、受講料 無料

- 10、託児 有料、6カ月から未就学の子ども先着3人。電話にて要予約
子ども1人につき500円
① 2・11 防災講演会
② 防災出前講座①(盛岡地区)のみ

- 11、申し込み ① 2・11 防災講演会・シンポジウム—FAXにて先着順に受付
② 防災出前講座①(盛岡地区)—みたけ地区活動センターにて受付
③ 防災出前講座②(宮古地区)—フラットピアみやこにて受付

- 12、問合せ **■もりおか女性センター(指定管理者特定非営利活動法人参画プランニング・いわて)**
〒020-0871 岩手県盛岡市中ノ橋通1-1-10 プラザおでつて5階
TEL 019-604-3303 / URL: <http://mjc.sankaku-npo.jp>
担当: かとうすけこ 加藤清子、たばたやえこ 田端八重子
■男女共同参画と災害・復興ネットワーク、公益財団法人日本女性学習財団
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-8 日本女子会館6階オフィス We learn 内
男女共同参画と災害・復興ネットワーク芝公園オフィス
TEL&FAX 03-6435-6355 / URL: <http://jwndrr.org>
担当: おおのてるこ 大野曜、むらまつやすこ 村松泰子

II、事業報告

1、2・11 防災講演会・シンポジウム

「東日本大震災から4年、「第3回国連防災世界会議」へ被災地からの発信」

開催日時	平成27年 2月 11日（水）13:30～16:30（3時間）
会場	プラザおでって3階ホール他
定員	100人 事業全体参加のべ人数 287人（女性218人・男性69人）
属性	防災に関心のある市民、町内会、女性団体（婦人防火クラブ・助産師会・更生保護女性の会・地域婦人会など）、議員（衆議院・市議会）、医師会、歯科医師会、行政職員、大学職員、NPO職員、市民活動団体、職員他
成果	* 市民に向けた男女共同参画の意識啓発につながった。 * 盛岡市町内会連合会や行政関係課や関係機関・団体、女性団体や市民活動団体等との連携を図ることができた。 * 平成26年度「女性防災リーダー養成講座」と「避難所運営マニュアル作成講座」において作成した、市民の手による市民のための「避難所運営ガイドライン」の完成報告ができ、次年度以降の事業や講座につながる機会となった。 * 震災から4年を迎えるにあたり、国連防災世界会議へ向けた国際的な動向と、震災・復興に関わる岩手の女性たちの取り組みの報告、今後私たちにできることを市民のみなさんと共に考え、発信する機会になった。
参加者の感想	* 「男女共同参画と災害・復興ネットワーク」の根気強い取り組みを知り、災害時の女性や多様な視点での取り組みの大切さと女性の発信力について学ぶことができたので、実践につなげていきたい。 * 一人ひとりがいかに災害に取り組むか、防災意識づくりが必要だと思った。私の住む自治会でも早く組織作りを行いたい。
満足度	100%（やや満足～満足）



↑ 避難所運営ガイドライン

↓ 防災事業パネル展示



↑ 講演会



↑ 講演会

↓ シンポジウム



2、防災出前講座①盛岡地区

「命とくらしを守る避難所運営」

～地域に暮らす多様な人々にとって、安全・安心な避難所づくり～

開催日時	平成 27 年 5 月 8 日 (金) 13:00 ～ 16:00 (3 時間)
会 場	みたけ地区活動センター 第 4・5 集会室
定 員	30 人 参加人数 33 人 (女性 22 人・男性 11 人)
属 性	みたけ地区町内会 (会長・副会長・町内会役員・民生児童委員)、みたけ地区活動センター職員、事業担当職員他
成 果	* 地域の核となっている活動センターが避難所になった場合を想定し、実際の間取り図を使用してより具体的にイメージし検討を図ることができた。実際に運営の主体となる自主防災会組織の町内会長をはじめとする役員の方々に参加いただき、平常時からの取組みにつなげる場となった。 * 女性防災リーダー修了生に、ファシリテーターなど講座運営に参画いただいた。これから地域に根差した多様な視点からの地域防災の取組みを一緒に進めていく機会となった。
課 題	* 「避難所運営ガイドライン」を使用した出前講座を通して、今後は地域の実情に合わせた地域独自のマニュアル作成に寄与していくことが必要である。
参 加 者 の 感 想	* 平常時から災害を想定した訓練の中に避難所運営の取組みを行い、防災意識を町内会の中に浸透させていくことが大切なので実践につなげたい。 * 町内会自主防災の訓練の参考にしたい。性別による役割分担ではなく、住民みんなで協力することが大切だと思った。 * 昨年も参加したが、今回の方が活動センターを避難所に想定した訓練でより具体的で実際の場面と運営についてイメージすることができ、自分自身の考えに変化があった。日頃から、「避難所運営ガイドライン」を使った講座が必要。 * 実際に想定した訓練だったので、講座の展開の早さについていくのがやっとだった。実際のさらなる困難が想定できた。
満足度	92% (やや満足～満足) ※やや不満 1・無記入 1 あり



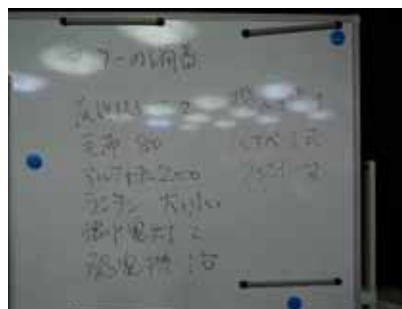
↑ 避難所グッズ体験 (段ボールのベッドや間仕切りなど)



↑ 講義



↑ グループワーク



↑ ガイドラインの説明

3、防災出前講座②宮古地区

「命と暮らしを守る避難所運営」

～地域に暮らす多様な人々にとって、安全・安心な避難所づくり～

開催日時	平成 27 年 5 月 15 日 (金) 14:00 ～ 16:00 (2 時間)
会 場	宮古市男女共生推進センター フラットピアみやこ
定 員	20 人 参加人数 36 人 (女性 24 人・男性 12 人)
属 性	岩手県男女共同参画サポーター宮古地区会員、民生児童委員、宮古市職員 (防災士含む)、フラットピアみやこ職員、報道関係、事業担当職員・関係者他
成 果	*初めての沿岸地区での出前講座にあたり、宮古市様に共催いただき募集や会場設営等ご協力をいただき連携を図ることができた。 *参加者は、防災士の資格を持った市職員や民生児童委員、男女共同参画の学びを地域で推進・実践している男女共同参画サポーターの方々に参加いただき、熱心に話し合いが行われ有意義な内容であった。 *女性防災リーダーに話し合いの記録をまとめるなど講座運営に参画いただいた。
課 題	*プログラムは盛岡地区と被災状況や経験など異なるため、被災地での経験をお聞かせいただき、今後の災害への教訓として活かすこと、ガイドラインについてご意見をいただくことに変更した。対象や状況に応じた柔軟なプログラムが重要である。
参 加 者 の 感 想	*男女共同参画が、避難所運営にとっても重要なものと再認識した。今後の自主防災組織や地域リーダーの中に、女性や多様な人たちを組み込んでいきたい。 *今までは女性は炊き出しという事が多かったが、本日の講座を聞き、さまざまな人が運営に関わることが必要だとわかったので今後活かしていきたい。 *ガイドラインの説明を聞き、非常時に備えこのようなガイドラインを使った平常時からの取組みが重要だと思った。 *有意義であったが、もう少し時間があつたらもっと良かった。
満足度	92% (やや満足～満足) ※やや不満 1・無記入 1 あり



↑開会



↑講義



↑グループでの話し合い



↑グループでの話し合い

4、事業検討会①～②

開催日時	①平成 27 年 2 月 11 日 (水) 16:30 ～ 18:30 (2 時間) ②平成 27 年 6 月 13 日 (土) 16:00 ～ 18:00 (2 時間)
会 場	①もりおか女性センター会議室 (2・11 防災講演会・シンポジウム終了後) ②ホテルブライトイン盛岡会議室 (女性防災リーダー養成講座終了後)
出席者	■検討委員 岩手レインボー・ネットワーク 代表 山下 梓 (全回) エンパワーメントいわて 加賀谷 真紀子 (全回) ■講 師 減災と男女共同参画研修推進センター 共同代表 浅野 幸子 (第 2 回) ■担 当 男女共同参画と災害・復興ネットワーク 代表 堂本 暁子 (第 1 回) 日本女性学習財団 理事長 村松 泰子 (第 1 回) 男女共同参画と災害・復興ネットワーク 青木 玲子 (第 2 回) 参画プランニング・いわて 理事長 平賀 圭子 (第 1 回) もりおか女性センター センター長 田端 八重子 (全回) もりおか女性センター 管理事業部リーダー 加藤 清子 (全回)
検討内容	「災害とジェンダーに関する人材育成プログラム」 『自然災害におけるジェンダー平等と女性のエンパワーメント』事業について
第 1 回 検 討 会	(1) 検討委員の顔合わせ (2) 事業概要の説明と意見交換 *今後の具体的な進め方についての意見交換を行い、実施に向けた枠組みの確認ができた。
第 2 回 検 討 会	(1) 成果 *防災講演会・シンポジウムでは、多様な視点からの防災・復興を市民のみなさんと共に考え、またこれまでの取組み紹介のパネル展など盛岡から発信する機会となった。 *防災講座は女性だけでなく男性の参加も多く、平常時から多様な立場で考え、実践につなげる機会となった。 *今年度の女性防災リーダー養成講座も、町内会からの参加者が多く、これまでのもりおか女性センター講座参加者との違いを感じた。災害時に女性が炊き出しと思っていた町内会の方々の意識が違ってきたことは非常に意義深い。 *女性防災リーダー養成講座の修了生について、盛岡市より「盛岡市女性人材リスト」への案内を行う。平成 27 年 3 月改定の「第 2 次盛岡市男女共同参画推進計画」の中に、女性防災リーダーの数値目標が明記されており、今後女性防災リーダーを増やし地域全体で取り組む機会となった。 (2) 特色 *もりおか女性センターでは、ジェンダーの視点に基づいた女性の人材育成「女性のためのエンパワーメント塾」を平成 21 年度から 5 年間実施した。本塾の修了生たちが自主グループを立ち上げ、社会参画を実現している。女性センターでは、このグループへの支援とセンター事業との連携など、これまで培ってきた実績によるところが大きい。 (3) 課題 *性別に関わらず多様な人々を巻き込んで、防災に焦点を絞った課題解決のための事業展開が重要である。 *若い女性たちを巻き込むことの難しさがある。学生を巻き込んでの実施など、担い手の人材育成を検討する必要がある。 *せっかくリーダーを養成したのに、途切れることの心配がある。自主グループや団体を立ち上げ、つなげていくことが大切である。より地域に密着した広がりのあるものにしていくために、支援や協働が必要である。 (4) 展望 *先進事例として、この事業モデルを岩手県内の市町村へモデル例として示すことができる。女性防災リーダーが、地域の中で発信していくことでより定着度が高まる。 *女性防災リーダーと共に、今後も継続した事業展開を図る。 *一般的な防災講座では、多様性の視点が抜けてしまいがちである。大学や関係機関とのプログラムの連携が出来れば、さらに広がりがあるものになる。

5、成果物一覧

No.	題 名	発 行	発行年
1	「命とくらしを守る避難所運営ガイドライン」増刷	内閣府、NPO 法人参画プランニング・いわて	2015.2 月
2	「命とくらしを守る避難所運営ガイドライン [本編]」作成 (※ H26 年度内閣府事業報告書から抜粋)	内閣府、NPO 法人参画プランニング・いわて	2015.2 月
3	「命とくらしを守る避難所運営ガイドライン」[外国語標示] (ラミネート仕様) 作成	男女共同参画と災害・復興ネットワーク、公益財団法人日本女性学習財団、NPO 法人参画プランニング・いわて	2015.6 月
4	『自然災害におけるジェンダー平等と女性のエンパワーメント事業』報告書 (日本語版・英語版) 作成	男女共同参画と災害・復興ネットワーク、公益財団法人日本女性学習財団、NPO 法人参画プランニング・いわて	2015.6 月

6、報道記事

↑出典：岩手日報社 _2015,2,11 (水)
「防災特集」避難所運営ガイドラインの紹介

→出典：岩手日報社 _2015,2,17 (火)
「2・11 防災講演会・シンポジウム」

↑出典：河北新報社 _2015,2,11(水)
「2・11 防災講演会・シンポジウム」

↑出典：岩手日報社 _2015,5,16 (土)
「防災出前講座②」(宮古地区)

事業名：カタールフレンド基金助成事業

「災害とジェンダーに関する人材育成プログラム」

『自然災害におけるジェンダー平等と女性のエンパワーメント』事業

発 行：男女共同参画と災害・復興ネットワーク、公益財団法人日本女性学習財団
特定非営利活動法人参画プランニング・いわて

問合せ先：〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-8

日本女子会館ビル 6 階オフィス We learn 内

男女共同参画と災害・復興ネットワーク芝公園オフィス

TEL&FAX 03-6435-6355 / URL : <http://jwndrr.org>

発行日：平成 27 年 6 月